

令和5年度第1回宮古空港活性化協議会議事録

令和5年4月27日（木）14:00より、沖縄県宮古島市平良字下里1657-128宮古空港ターミナル(株)3階会議室において令和5年度第1回宮古空港活性化協議会を開催した。

参加者：宮古島市長、沖縄県土木建築部、沖縄県総務部宮古事務所、JTA宮古支社、ANA宮古支店、宮古島観光協会、宮古島商工会議所、宮古空港ターミナル(株)。

宮古空港ターミナル(株)は、協議会会則の承認まで進行する旨を告げた。

議 事

宮古空港ターミナル(株)は「議題1 宮古空港活性化協議会設立について」を以下のとおり説明した。

国内経済は、新型コロナウイルス感染拡大防止と経済活動の両立を維持する中、同感染症の扱いの見直しやワクチン追加接種もあり、景気はゆるやかに回復に向かいつつあります。

県内経済においては、3年ぶりに同感染症に対する緊急事態宣言やまん延防止重点措置が解除となり大型連休から夏休みに掛けて旅行需要は持ち直し傾向にあり、10月からは旅行需要喚起策等の後押しもあって、主要産業である観光関連は回復傾向にあります。このような状況の中、更なる宮古空港の利便性・施設機能向上が求められています。

つきましては、「宮古空港の施設の効率的な運用」「宮古空港の施設利用者の利便性及び快適性の向上」「宮古空港の施設機能の向上」等、宮古空港の活性化を目的とした「宮古空港活性化協議会」の設立について皆様の御賛同を頂きたいとお諮り致します。また、宮古空港活性化協議会及び幹事会の構成員は以下のとおりでよいか、併せて伺います。

宮古空港活性化協議会構成員（案）

職 名	機 関 名
会 長	宮古島市 市長
会 員	沖縄県 土木建築部 部長
〃	沖縄県 総務部 宮古事務所 所長
〃	日本トランスオーシャン航空(株) 宮古支社長
〃	全日本空輸(株) 宮古支店長
〃	一般社団法人 宮古島観光協会 会長
〃	宮古島商工会議所 会頭
〃	宮古空港ターミナル(株) 代表取締役社長

宮古空港ターミナル(株)より、議場へ諮ったところ、全員異議なく承認可決した。

宮古空港ターミナル(株)より「議題2 宮古空港活性化協議会会則の承認について」が説明され、議場へ諮ったところ、全員異議なく承認可決した。

宮古空港ターミナル(株)は、会則第5条に基づき、会長へ会の進行を引き継いだ。

会長は、「議題3 宮古空港の課題について」を議論していくと発言した。

ANAは、直行便を含めて中型機型機、特に羽田便が3便離発着している。しかし、中型機が使用できるのが5番SPOTのみ。運用に苦慮している。より多く需要の取り込みを考えると、小型機用SPOTだけでなく中型機用SPOTの増設検討が必要。更に、大型機就航を考えると、エプロンを横に拡張するだけでなく、縦方向への拡張も必要になる。理由は、大型機が駐機した時に後方を他機が通れない。GSE置場の拡張も必要になる。職員駐車場、到着ターンテーブル増設の問題もあると発言した。

JTAは、次のとおり沖縄県へ要請していると発言した。

○並行誘導路の設置または滑走路途中へのターニングパッド設置。○SPOTの増設。
○中型機対応のSPOTの増設。○GSE置場置き場の増設。○SPOT1又は2周辺へのパッセンジャーステップ(TPS)置き場新設。○貨物上屋の拡張再配置。○一般駐車場運用時間延長。○一般駐車場の拡張及び従業員駐車場、レンタカースペースの拡張。
○一般駐車場駐車料金30分無料化。○一般駐車場駐車料金のキャッシュレス決済導入。

沖縄県は、ANA・JTAから毎年要望を頂いている。両航空会社調整しながら検討していきたい。平行誘導路は航空局と調整していきたい。駐車場30分無料化の料金形態改定には県議会の承認が必要。30分無料のメリット・デメリットを考えて検討していくと発言した。

宮古空港ターミナル(株)は、県所有である道路沿いの公園を職員専用駐車場にしてはどうかと発言した。

宮古島商工会議所は 駐車場の決済をキャッシュレス、あるいは両替機を設置してほしいと発言した。

宮古島観光協会は、宮古島内でレンタカー業者は250社、車両数は5,000台を超えている。レンタカーは旅客の足。20年先を見て、レンタカーの駐車スペースを確保し旅客の離島ならではの利便性・満足度を上げていく必要があると発言した。

会長は、長期的課題、短期的課題と分けて議論し県・国への要請事項を考えていく。市として堅実な対応をしていく。幹事会で議論し、協議会に諮ってくださいと発言した。

会長は、宮古空港活性化協議会の閉会を宣言した。

以上